

2014 年度を振り返って

田丸 あけみ

2014 年度も残すところ 1 ヶ月となりました。

この 1 年を振り返り、頭に浮かぶ文字は「怒涛」「感謝」「安堵」の三文字です。

「怒涛」は、文字の如く、世代交代・園舎の建て替えが同時にあり、正に激動に一年でした。

「感謝」は、2 つの事が同時進行していく中、保護者の方にたくさんの方で、力をかしてもらえた事、理解し協力してもらえた事に感謝の一年でした。

そして、工事期間中、騒音等でご迷惑をおかけした地域住民の方々にも感謝の思いでいっぱいでした。

「安堵」は、子ども達が安心して過ごせる園舎が無事に完成した事と、この一年大きな事故やケガなく過ごせた事です。11 月から、この場所で保育を再開し、子ども達の賑やかな声が戻ってきたことも大きな喜びでした。

そして、3 月。最後の一年を、東保育所内のアトムに 10 名、つばさ共同保育園に 15 名、他園に 1 名が半年間分かれて過ごした、5 歳児 26 名の子ども達も、いよいよ卒園を迎えます。

あと残りわずかなアトム生活を有意義に過ごしてほしいと願います。

アトムは、卒園したら終わりではなく、その後も続く子育ての応援団として存在してほしいと思っています。第二の家として、卒園後も、気軽にアトムへ足を運んでほしいです。

職員の木場浪子も今年度末をもって定年退職を迎えます。

25 年という長い年月、アトムを支え続けてくれた職員が、また一人定年退職を迎えることになりました。退職者を送り出すたびに、寂しい気持ちと、敬意の気持ち、そして、次を担う責任感で胸がいっぱいになります。

最後に、新米園長を叱咤激励してくれた保護者の皆さんには、感謝の言葉しかありません。園長を引き受けることを決心し、スタートしたこの一年、保護者からかけてもらった言葉にどれだけパワーをもらえたことかわかりません。恥ずかしながら、私の未熟さ故に保護者の方を混乱させてしまった出来事もありました。自分への反省はもちろん大きいです。やりとりのなかから、学びや気づきをもらえた事もたくさんありました。

園長という重圧に押しつぶされそうになる時期も幾度とありましたが、どうにか一年目を終える事ができそうです。

これからも、「何の為に、誰の為に」を大事に心に持ちながら、一歩一歩進んでいきたいです。

サンキューの日について。(3月9日)

日頃、なかなか家族やお世話になっている人たちに、感謝の気持ちを伝える機会がない子ども達。そこで、“日頃、お世話になっている人に感謝の気持ちを伝えよう！”という目的で、3月9日を“サンキューの日”としています。